

評価者	健康福祉部長	田中 良一
-----	--------	-------

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進
目標とすべきまちの姿	健診事業や健康教育が充実し、市民一人ひとりが心身ともに健康な状態で豊かな生活を送り、市民が主体的に健康づくりに取り組める環境が整備されています。 災害時の救護所の設置など、医療救護活動を迅速かつ的確に行えるような体制が整備されています。			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	10.4%	平成30年度(2018年度)	9.3%	平成29年度(2017年度)	10.0%
	平成28年度(2016年度)	10.3%	平成27年度(2015年度)	11.3%		

(2) 妥当性

**令和元年度(2019年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.7%	1.6%	0.0%
ちょうどよい	6.7%	50.2%	1.9%
効果不十分	8.0%	3.8%	9.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成30年度(2018年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	3.8%	1.3%	0.2%
ちょうどよい	8.1%	51.6%	1.5%
効果不十分	7.6%	3.1%	8.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成29年度(2017年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.6%	1.4%	0.4%
ちょうどよい	7.0%	49.7%	1.6%
効果不十分	6.7%	3.7%	9.8%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成28年度(2016年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	4.1%	2.5%	0.5%
ちょうどよい	8.9%	49.0%	1.2%
効果不十分	8.0%	3.0%	7.5%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

**平成27年度(2015年度)**

お金の使い方

	使いすぎ	ちょうどよい	足りない
必要以上の効果	2.9%	2.0%	0.4%
ちょうどよい	8.4%	46.2%	1.4%
効果不十分	7.7%	3.6%	9.3%

仕事の効果

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

### (3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	22.9%	55.5%	6.1%	15.5%
平成30年度(2018年度)	26.4%	53.7%	6.0%	13.9%
平成29年度(2017年度)	26.0%	51.3%	7.6%	15.1%
平成28年度(2016年度)	24.3%	53.6%	6.7%	15.3%
平成27年度(2015年度)	23.9%	53.6%	5.3%	17.2%

## 2 内部評価

### (1) 令和元年度(2019年度)の目標

<p>&lt;高齢者いきいき課&gt;</p> <p>①NPOやボランティア等の住民が主体となってサービス提供する、「住民主体によるサービスB」補助制度や介護資格取得者への研修費用の助成制度を普及することで介護の担い手を確保していく。(健福-26)</p> <p>②ケアマネジャーが作成するケアプランが自立に資するものになっているか等を点検することで、利用者の自立促進や介護給付費の適正化につなげる。(健福-26)</p> <p>&lt;市民健康課&gt;</p> <p>③健康づくり計画、食育推進計画及び自殺対策計画を推進し、市民や関係機関と連携し、心身の健康づくりが促進されるような取り組みを検討する。(健福-36、45)</p> <p>④二科体制を効率的に行うための診療室の整備を行う。また、休日急患歯科診療及び障害者歯科診療について、患者数等の状況を見ながら、歯科医師会と協議・調整をする。災害時医療救護マニュアルの改訂に取り組む。(健福-37)</p> <p>⑤健診受診率の向上につなげるために、未受診者への再勧奨の実施や、健診を受診することでポイントを付与するなどICT健康づくり事業との連携を図り、市民が健康づくりに関心を持てるよう推進する。(健福-42、43)</p> <p>&lt;保険年金課&gt;</p> <p>平成30年度の制度改正を踏まえつつ、次の4つを目標としたい。</p> <p>⑥国民健康保険の安定的な財政面での運営を確保する。(その他法定外繰入金の計画的な削減、標準保険料率達成の取組及び医療費適正化につながる特定健診等受診率の向上)(健福-49)</p> <p>⑦県下トップクラスの保険料収納率であるが、横ばい傾向であるため、収納率上昇が見られる他市事例を参考にし、本市で採用できる取り組みがないか検討する。(健福-49)</p> <p>⑧従来からの保健事業に加え、被保険者の健康維持のため、AIやナッジ理論(行動経済学上のそっと一押しする考え)を活用する取り組みを検討する。(健福-49)</p> <p>⑨保険者努力支援制度や県繰入2号(県からの財政支援)による補助金確保や増額に向けた事業を展開する。(健福-49)</p>
---

### (2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

<p>&lt;高齢者いきいき課&gt;</p> <p>①～②介護人材の確保や介護予防・健康づくり活動を行う団体への補助制度の普及により、市民が主体的に健康づくりに取り組める環境整備に寄与するとともに、誰もが住み慣れた地域で最期まで暮らすことのできる「地域包括ケアシステム」の構築につながっていく。</p> <p>&lt;市民健康課&gt;</p> <p>③各計画を推進することは、市民の健康に対する意識の向上に貢献する取り組みであり、市民が主体的に健康づくりに取り組むことができる環境の整備につながる。</p> <p>④救急医療体制の整備及び災害時医療救護マニュアル改定への取組みは、市民が安心して暮らすことができるまちの一助となる。</p> <p>⑤健診受診率の向上は、市民の健康づくりに繋がるものであり、市民一人ひとりが心身ともに健康な状態で豊かな生活を送ることができる環境の構築に繋がる。</p> <p>&lt;保険年金課&gt;</p> <p>⑥～⑨国民健康保険財政の安定化は、「市民が主体的に健康づくりに取り組める環境」を整備するための基盤となるものであり、このことにより、「健診事業や健康教育が充実し、市民一人ひとりが心身ともに健康な状態で豊かな生活を」送ることができるもので、特定健診受診率の向上や生活習慣病重症化予防の推進は目標とすべき町の姿の実現に寄与するものである。(健福-49)</p>
--

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
健福-26	介護保険事業(特別会計)	17,222,094	16,431,713	20.5	20.0	無	b	A
健福-34	医療・保健関係団体支援事業	7,539	7,460	0.1	0.1	無	b	B
健福-35	産科診療所支援事業	127,078	118,550	0.4	0.4	無	c	C
健福-36	保健衛生運営事業	4,965	3,708	1.5	1.3	無	b	B
健福-37	救急医療対策事業	170,809	166,655	0.8	0.8	無	a	A
健福-38	予防接種事業	390,418	398,028	3.2	3.2	有	a	A
健福-39	感染症対策事業	759	253	0.7	1.3	無	d	-
健福-40	成人保健事業	9,215	9,072	3.0	2.8	無	a	B
健福-41	母子保健事業	146,987	151,040	8.7	6.6	無	a	A
健福-42	成人健康診査事業	125,235	122,360	1.1	1.1	無	b	B
健福-43	がん検診事業	314,712	310,849	2.8	4.3	無	b	B
健福-44	健康情報システム構築・運用事業	22,502	21,333	0.7	0.5	無	b	B
健福-45	食育事業	499	714	0.8	0.8	無	b	B
健福-46	ICT活用健康づくり事業	7,837	7,896	0.6	0.4	無	a	B
健福-48	国保組合支援事業	65	66	0.1	0.1	無	a	B
県福-49	国民健康保険事業(特別会計)	17,005,526	17,730,863	16.7	16.7	無	b	B
健福-50	後期高齢者医療事業(特別会計)	5,441,413	5,347,342	5.3	6.3	無	b	B

(4) 主な実施内容

<p><b>【主な実施内容】</b></p> <p>&lt;高齢者いきいき課&gt;</p> <p>①住民主体によるサービスを行う団体への補助制度に基づき7団体に補助を行うとともに、介護資格取得者への研修費用の補助制度に基づき19名に補助を行った。(健福-26)</p> <p>②居宅介護支援事業者等を対象に、36件のケアプラン点検を行った。(健福-26)</p> <p>&lt;市民健康課&gt;</p> <p>③(地域自殺対策)関係機関と連携した普及啓発の取組みを引き続き行った。「こころの健康づくり」をキーワードとした講座では、比較的若い世代の参加を促すことができた。若い世代への相談事業PRのためのSNS等を活用した広告掲載のための予算獲得を行った。さらに、相談窓口情報の普及のための媒体を作成・配布した。(未病センター)民間機関等による未病センター開設に向けて働きかけた。(食育事業)関心が低い青壮年期も食行動の変容につながるように、LINEやHPを活用し、できるだけ具体的な取組み方法を提示した。(健福-36,45)</p> <p>④(休日夜間急患診療所)診療室の整備について、二科体制を効率的に行うために改修工事を行った。(口腔保健センター)障害者歯科診療について、診療体制や開設時間の協議を行った。(災害時医療救護マニュアル)関係団体と調整し、マニュアルを改訂した。(健福-37)</p> <p>⑤スマホドックの周知媒体(チラシ)を委託業者と協議し、対象者にわかりやすい内容になるよう作成し、健診案内に同封した。(健福-42)</p> <p>&lt;保険年金課&gt;</p> <p>⑥~⑨国民健康保険については、70歳から74歳までの国民健康保険加入者あてに交付していた「国民健康保険高齢受給者証」と「国民健康保険被保険者証」を一体化して1枚の「国民健康保険被保険者証兼高齢受給者証」としたことで、利用者の利便性を向上させるとともに、経費の削減を行った。(健福-49)</p> <p>⑥~⑨国民健康保険については、特定健診の未受診者あてに受診勧奨を行うとともに、受診者を対象に健診結果の通知及び健康づくりに役立つ情報提供を行ったほか、生活習慣病のリスクに応じて特定保健指導などのフォローアップを行った。併せて、かまくらヘルシーポイントを実施し、市民の健康づくりに寄与した。(健福-49)</p> <p>⑥~⑨国民健康保険については、その他法定外繰入金計画的な削減ができた。(健福-49)</p> <p>⑥~⑨後期高齢者医療については、保険料の滞納処分に努めて一部債権は債権管理課に移行するとともに、ペイジー・システムによる口座振替を推奨して保険料の収納率向上に努めるなど、後期高齢者医療事業の安定的な運営に努めた。また、医療費適正化の観点から、引き続き医療費通知及び後発医薬品を使った場合の医療費減をお知らせするジェネリック医療費通知を行った。(健福-50)</p> <p><b>【実施できなかった事業とその理由等】</b></p>
---

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善
<b>&lt;上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等&gt;</b>		
<p>&lt;高齢者いきいき課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施が義務付けられている事務もあり、成果を測ることがなじまないものもあるが、高齢者人口や要支援・要介護認定者の増加に伴い、介護給付費の増加が見込まれる中、介護給付費の適正化を図っていくとともに、住民主体によるサービスを実施する団体数の拡充等により地域で高齢者を支える仕組みづくりを進めていく。</li> </ul> <p>&lt;市民健康課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の健康づくりを推進するための普及啓発については、様々な媒体を活用して発信することができており、今後もそれを継続していく。(健福-36,45)</li> <li>・救急医療対策については、その需要に応えるべく、体制の強化を図っており、関係団体との調整を続けている。災害時医療救護マニュアルについては、県の保健医療救護計画等との整合性を図るべく、今後も都度改訂していく必要がある。(健福-37)</li> <li>・周知媒体の見直しや、再勧奨の実施など、新たな取り組みの効果を検証するとともに、他市事例を参考にすると、引き続き受診率向上に向けて取り組む必要がある。(健福-42)</li> </ul> <p>&lt;保険年金課&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険については、一部未実施の事務もあるが、被保険者証の一体化や特定健診の未受診者あての受診勧奨、生活習慣病のリスクに応じた特定保健指導などのフォローアップなど、国民健康保険事業の安定化や医療費の適正化に寄与する事務を実施している。(健福-49)</li> <li>・後期高齢者医療については、保険料徴収率の向上に課題は残るが、保険料の滞納処分、口座振替の推奨等の保険料収納率の向上、継続したジェネリック医療費通知の発送など、後期高齢者医療事業の安定的な運営、医療費の適正化に寄与する取り組みを進めている。(健福-50)</li> </ul>		

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	健福-26	事業名	介護保険事業(特別会計)								
指標の内容	要支援・要介護認定率(調整済)(各年度末時点)					単位	%	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	調整済の認定率とは、第1号被保険者の性別、年齢別人口構成の影響を除外したもの。H30(2018)実績は10月以降に公表予定。			
要支援・要介護認定率の維持、減少	目標値	-	-	-	-	17.2	17.2				
	実績値	-	-	17.3	17.2	10月予定					
	達成率	-	-	-	-						
整理番号	健福-26	事業名	介護保険事業(特別会計)								
指標の内容	介護保険料現年度分の収納率(各年度)					単位	%	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)				
収納率推移の把握	目標値	-	-	-	91.0	91.5	92.0				
	実績値	-	-	-	91.1	92.9	92.7				
	達成率	-	-	-	100.1%	101.5%	100.8%				
整理番号	健福-26	事業名	介護保険事業(特別会計)								
指標の内容	住民主体サービス補助団体(各年度末時点)					単位	団体	指標の傾向	⇒	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H30(2018)の目標値が空欄となっているのは、年度途中の事業開始によるもの。			
補助団体の推移の把握	目標値	-	-	-	-	-	10.0				
	実績値	-	-	-	-	2.0	7.0				
	達成率	-	-	-	-	-	70.0%				
整理番号	健福-26	事業名	介護保険事業(特別会計)								
指標の内容	地域介護予防活動支援事業補助団体(各年度末時点)					単位	団体	指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	H30(2018)の目標値が空欄となっているのは、年度途中の事業開始によるもの。			
補助団体の推移の把握	目標値	-	-	-	-	5.0	15.0				
	実績値	-	-	-	3.0	10.0	19.0				
	達成率	-	-	-	-	200.0%	126.7%				
整理番号	健福-36	事業名	保健衛生運営事業								
指標の内容	健康づくり計画PR事業(鎌人いちば)のブース来場者数					単位	人	指標の傾向	↘	備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	令和元年度は収穫まつりにて周知を実施。			
「鎌倉市健康づくり計画」を直接紹介する事業であるため。(PRについては、その他、保健事業とも連携して推進中)	目標値	-	-	300.0	450.0	500.0	550.0				
	実績値	-	-	416.0	雨天中止	670.0	100.0				
	達成率	-	-	138.7%	-	134.0%	18.2%				

整理番号	健福-37	事業名	救急医療対策事業									
指標の内容	休日夜間急患診療所の小児科医配置率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0					
	実績値	46.7	60.5	68.3	67.3	68.9	63.0					
	達成率	93.4%	100.8%	97.6%	84.1%	76.6%	63.0%					
整理番号	健福-37	事業名	救急医療対策事業									
指標の内容	休日急患歯科診療の患者数(平成29年度以降は障害者歯科診療も含む。)					単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
休日急患歯科診療及び障害者歯科診療について、それぞれのニーズの推移を見ながら歯科医師会と診療日数・時間等の調整を図っていくため	目標値	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0	300.0					
	実績値	284.0	249.0	222.0	216.0	444.0	722.0					
	達成率	94.7%	83.0%	74.0%	72.0%	148.0%	240.7%					
整理番号	健福-42	事業名	成人健康診査事業									
指標の内容	スマホdeドック(キット健診)受診率(受診率:受診者数/対象者数)					単位	%	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
20代30代の若いうちから、生活習慣病予防の意識をもってもらい、健康寿命の延伸を図るため	目標値	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0				平成27年度は、自己負担金無料で実施。	
	実績値	5.5	17.7	6.9	4.2	3.5	4.7					
	達成率	55.0%	177.0%	69.0%	42.0%	35.0%	47.0%					
整理番号	健福-43	事業名	がん検診事業									
指標の内容	前立腺がん検診受診率(受診率:受診者数/国のがん検診対象者数)					単位	%	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
平成29年度から前立腺がん検診を実施。受診率の推移を把握し、導入の効果を確認するため。	目標値	-	-	-	50.0	50.0	50.0				目標値は、国が目標としているがん検診受診率	
	実績値	-	-	-	35.2	26.7	25.2					
	達成率	-	-	-	70.4%	53.4%	50.4%					
整理番号	健福-49	事業名	国民健康保険事業(特別会計)									
指標の内容	特定健診受診率					単位	%	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
特定健診を受診することにより、国保被保険者本人が、自らの健康状態を把握し、健康の維持・増進に努めることで医療費の適正化が図られるとともに、指導対象となった被保険者には、健康指導が実施され同様の効果が期待できるため。	目標値			40.0	40.0	33.0	35.0				第2期データヘルス計画策定によりH30以降の目標値修正	
	実績値	32.3	33.2	32.1	33.1	33.1	32.6					
	達成率	-	-	80.3%	82.8%	100.3%	93.1%					
整理番号	健福-49	事業名	国民健康保険事業(特別会計)									
指標の内容	国保保険料収納率					単位	%	指標の傾向	↘	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
神奈川県下トップレベルの収納率であるが、更なる向上が可能であるため。	目標値	-	-	-	94.5	94.8	95.0				実績値については、6月下旬公表予定。	
	実績値	93.3	94.1	94.1	94.7	94.4	93.7					
	達成率	-	-	-	100.2%	99.6%	98.6%					
整理番号	健福-49	事業名	国民健康保険事業(特別会計)									
指標の内容	糖尿病性腎症重症化予防事業の利用者数					単位	人	指標の傾向	↗	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
糖尿病性腎症の予防は、将来的な医療費の削減につながるものであるため。	目標値	-	-	-	-	10.0	20.0					
	実績値	-	-	-	-	2.0	4.0					
	達成率	-	-	-	-	20.0%	20.0%					
整理番号	健福-50	事業名	後期高齢者医療事業(特別会計)									
指標の内容	保険料収納率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考		
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)					
保険料収納率を高めることで、後期高齢者医療保険財政の安定化を図り、保険制度の適正な運用を行うため。	目標値	99.2	99.3	99.5	99.5	99.5	99.6					
	実績値	99.5	99.5	99.4	99.4	99.6	99.4					
	達成率	100.3%	100.2%	99.9%	99.9%	100.1%	99.8%					